

# AIによるリアルタイムハザードマップシステム

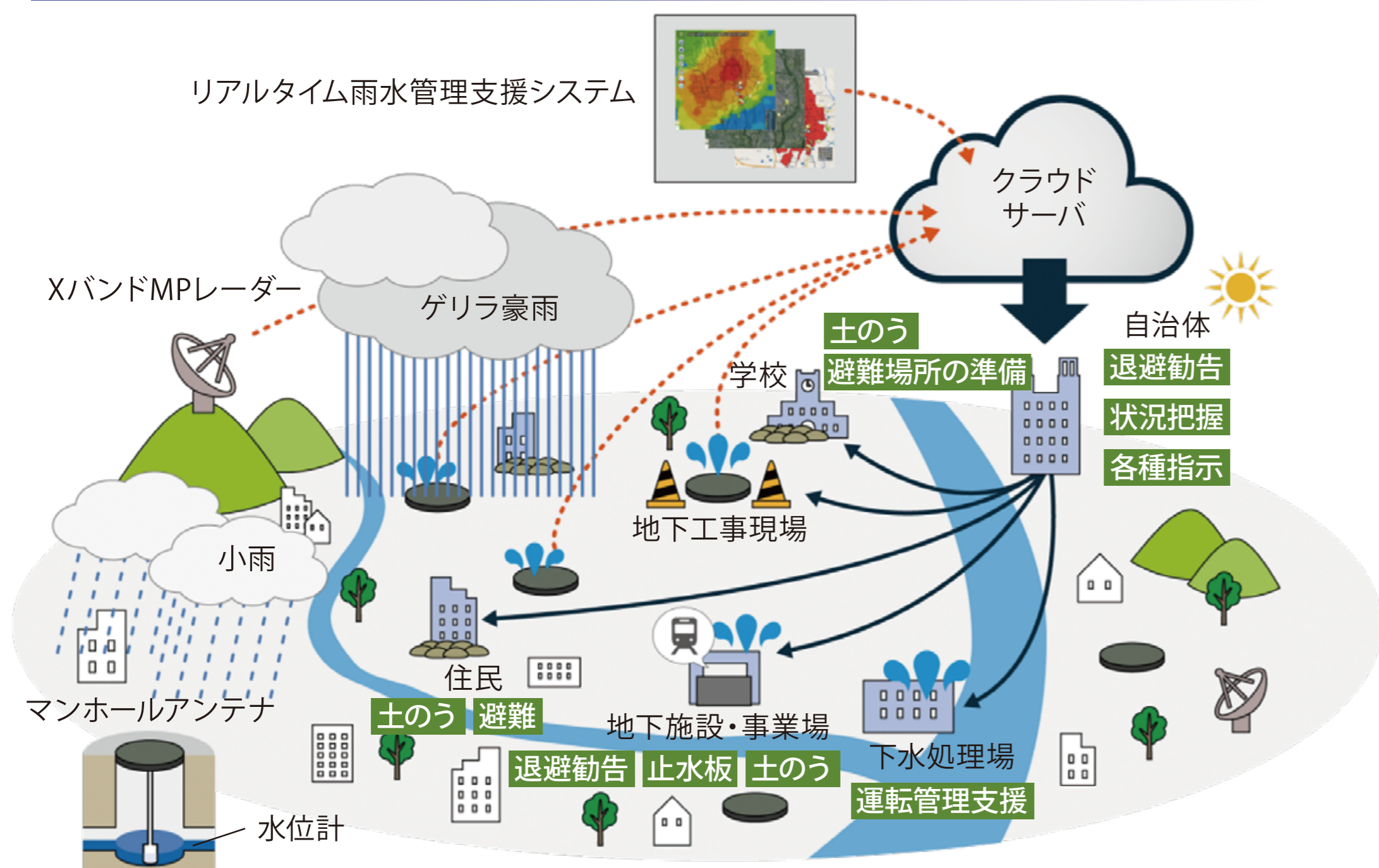
浸水の危険性をいち早く察知し、通知・周知する防災情報システム

内水氾濫対策として自治体ごとにハザードマップが作成されていますが、雨の降り方によっては浸水が発生する区域が想定できず、水防活動が遅れてしまう状況もあります。

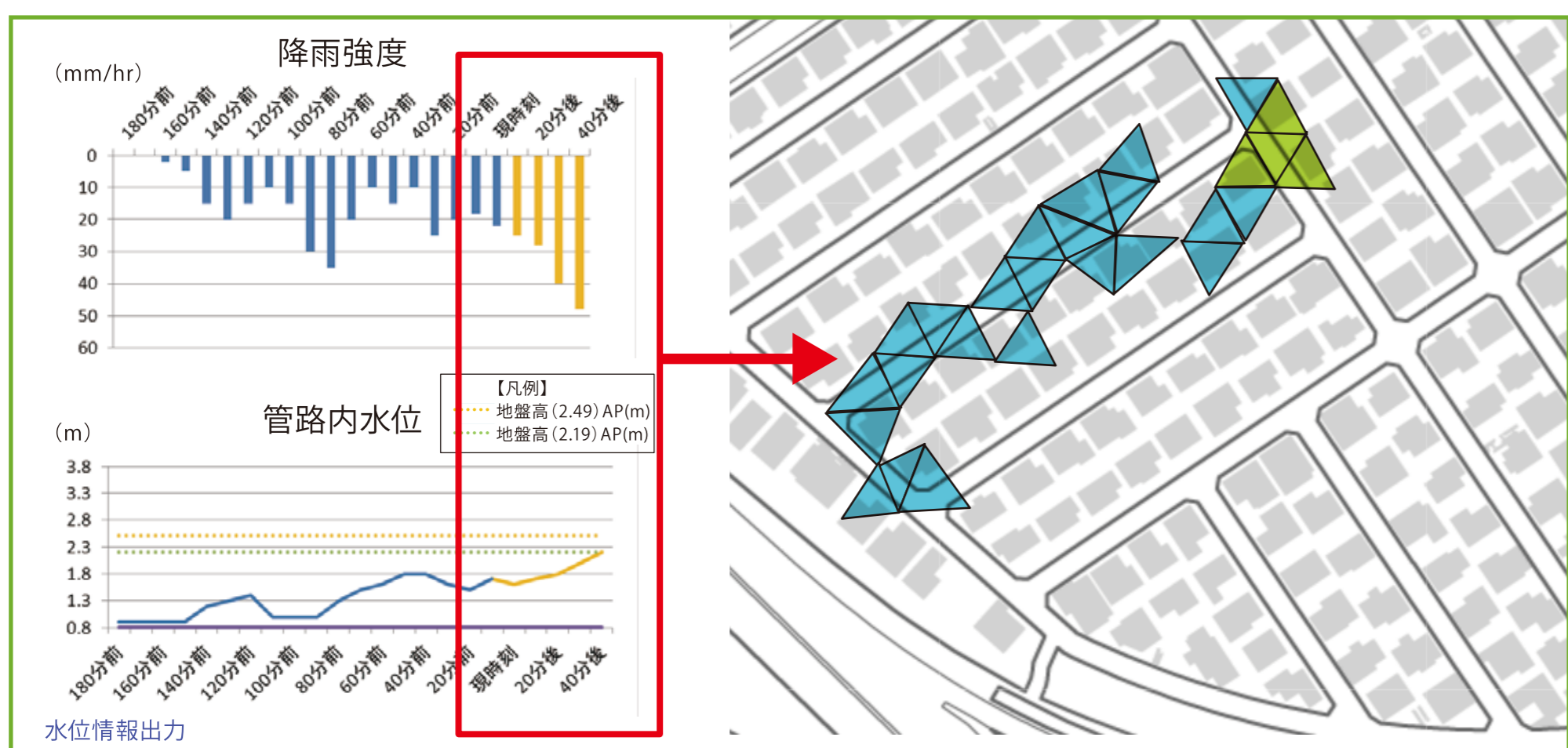
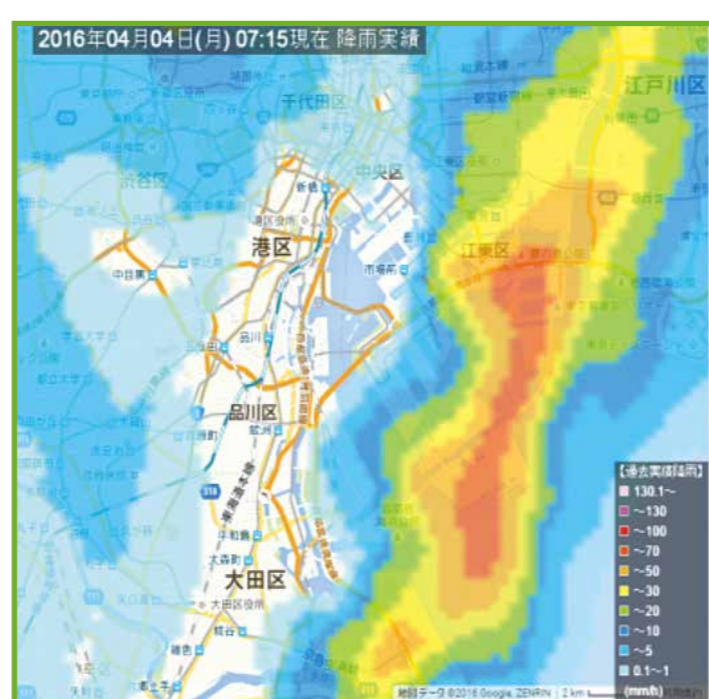
この問題を改善するため、短時間での内水氾濫解析が可能なAI技術を開発し、30分以内に発生する内水氾濫箇所を表示、アラート配信(電子メール)するシステムを構築しています。

本システムは、XバンドMPLレーダー(XRAIN)による降雨情報(観測・予測)、下水道管渠や水路内の水位情報および潮位といった複数の情報をもとにAI学習器でトレーニングしたモデルを搭載しています。本システムにより、浸水状況を即時にシミュレーションし、「リアルタイムハザードマップシステム」を発信します。また、浸水危険度や観測水位がある設定値を超えると関係者にアラート配信(電子メール)できます。

## システムイメージ



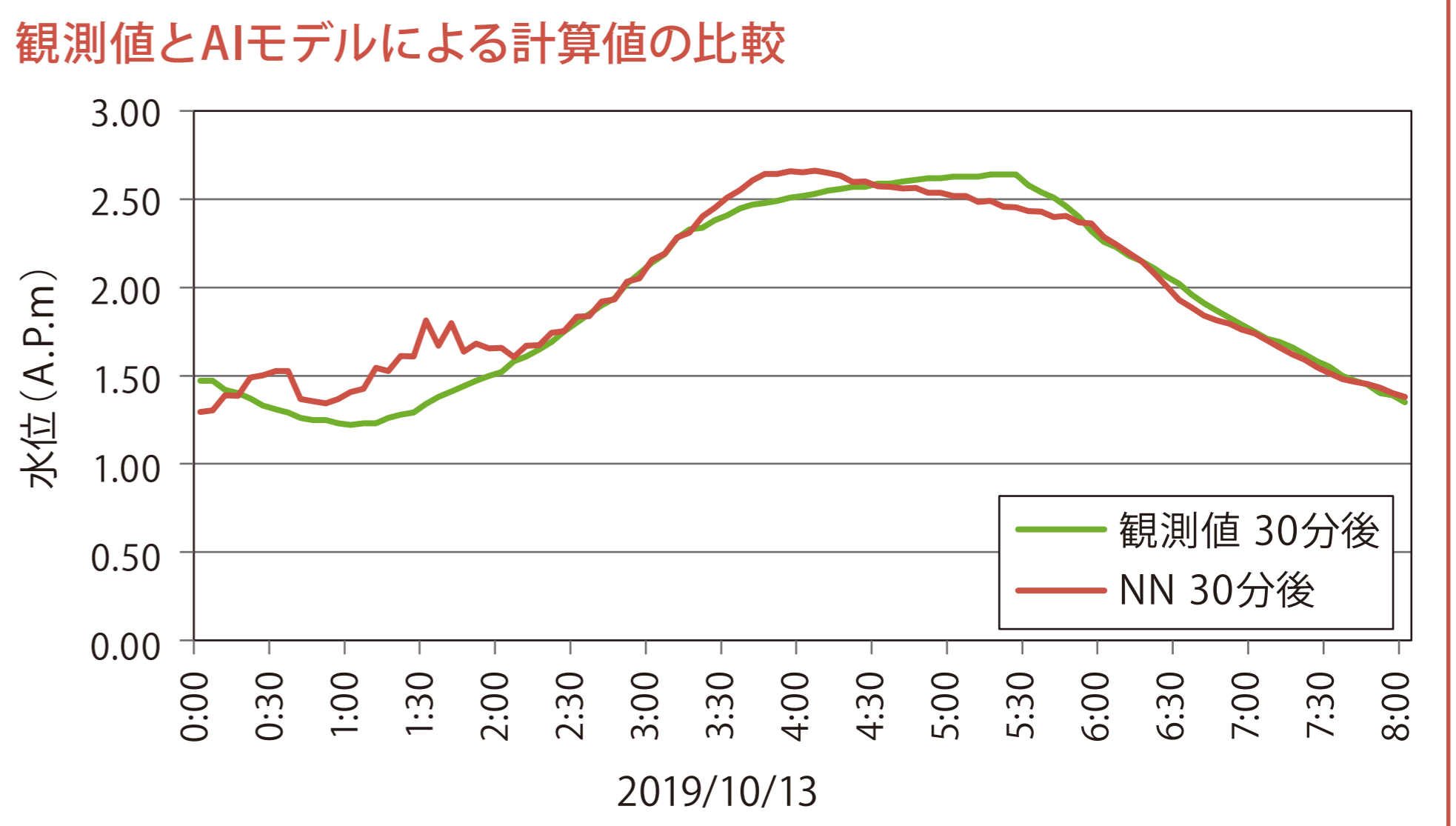
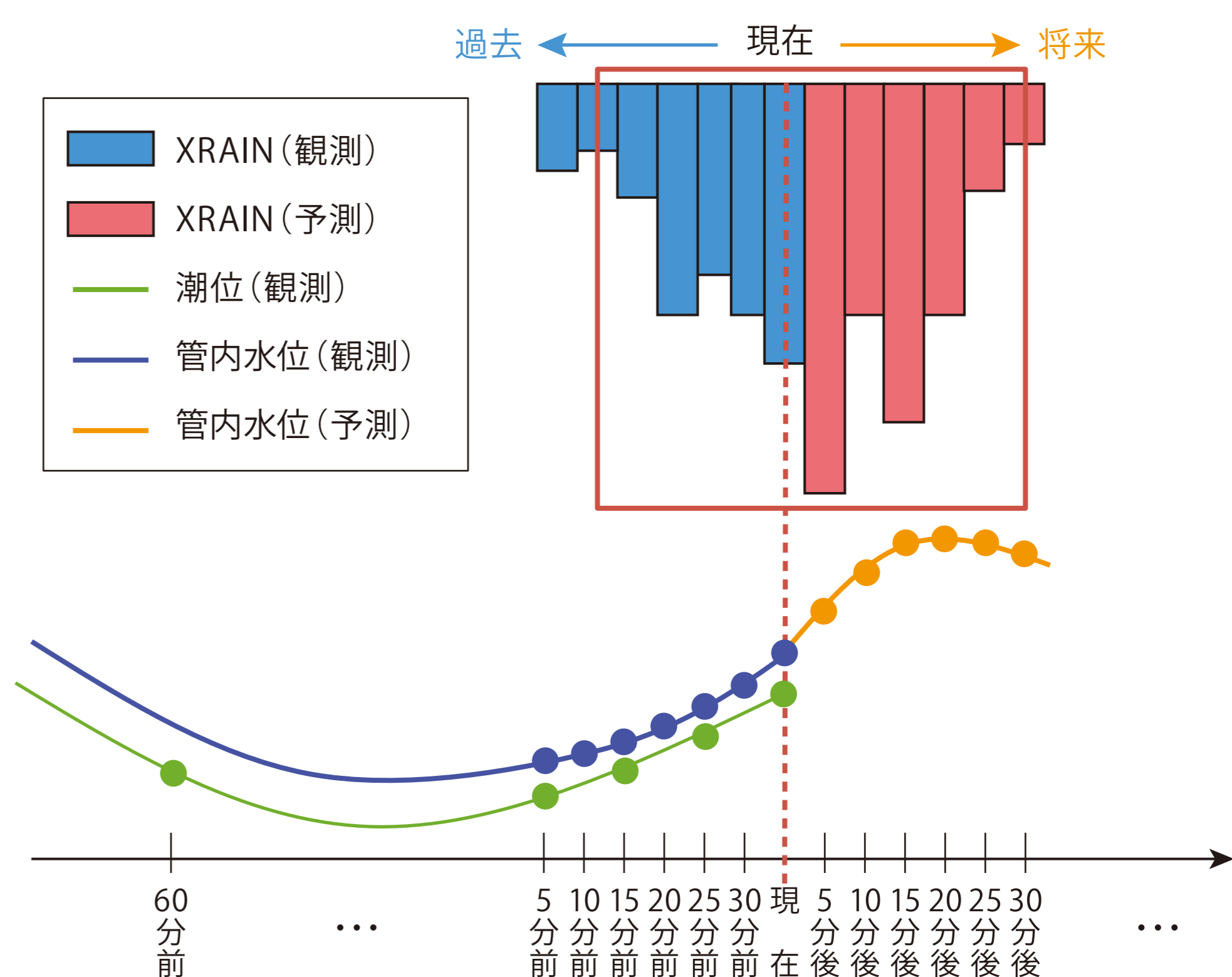
## 雨水管理機能



AIモデルから得た管内水位の予測結果から、想定される浸水域を面的に表示

## AIによる水位予測

AIモデルを活用した水位予測システムの運用イメージ



リアルタイムで取得

・・・XRAIN降雨(観測・予測)、管内水位(観測)、潮位(観測)

↓ AIモデル(ニューラルネットワーク)

管内水位を予測

### 流域治水のソフト対策もお任せください!

今を知れば、未来が分かる。

